

Evidence Based Education 研究会

～理論と実践の統合を目指して～

第10回大会



<日時>

2014年8月23日(土) 10:30～16:30

<場所>

同志社大学 今出川キャンパス こうふうかん 弘風館会議室(4階)

(※昨年度の会場「寧静館」とは建物が違います。ご注意ください。)

<タイムテーブル>

10:00-10:30 受付
10:30-10:40 開会の挨拶・EBE研究会の趣旨説明
10:40-12:10 研究発表
12:10-13:00 昼食
13:00-14:15 研究発表
14:15-14:30 休憩
14:30-16:00 講話 静岡県立大学 津富 宏 先生
16:00-16:10 休憩
16:10-16:25 本研究会の今後について
16:25-16:30 閉会の挨拶
(別会場へ移動)
18:30- 懇親会

研究発表

時間	発表者	所属	発表テーマ
10:40～	伊藤 直敬	岐阜県公立小学校	EBE 実践と教師の成長
11:10～	中井 俊之	広島県公立小学校	EBE 実践における EBE のステップとその課題
11:40～	山田 洋平	梅光学院大学	実践者と研究者の連携について
13:00～	大村 正樹	滋賀県公立小学校	系統的レビューの実施に向けた検討課題
13:30～	桐村 豪文	京都大学特定助教	学校改善モデルの有効性に係わる科学的基準に関する検討
14:00～	森 俊郎	岐阜県公立中学校	EPPI 視察を終えて

<参加費など> ※受付時にまとめて徴収させていただきます。

・参加費…1,000円 ・弁当代…1,000円 ・懇親会…4,000円程度
(会場周辺には、食事処やコンビニエンスストアなどはございません)

■Evidence Based Education 研究会第 10 回大会を迎えるにあたって

早いもので、本研究会の大会も 10 回目を数えることとなりました。

昨年の同時期に開催された第 8 回では、実に 25 名を超える参加者に来ていただけました。また、実践者や研究者に加えて、行政や一般企業に勤務する方に至るまで、多様な参加者にお越しいただきました。本当に感謝しております。

さて、第 8 回大会においては、目標を以下のように設定しておりました。

- ・ EBE の定義や概念を具体的に示す。
- ・ エビデンスに基づく実践を 1 つ（以上）出す。

これらの目標は達成することができたと考えております。しかし、我々の未熟な研究について、多くの方からたくさんのご指摘やご示唆も頂戴致しました。

そこで今年は、昨年まで進めていた各々の研究を深めることを目標に致しました。また、昨年同様、第 9 回大会（2014 年 3 月、広島にて開催）を第 10 回大会の「プレ」と位置付け、1 年間勉強してまいりました。普段は学校現場や大学などで仕事をしながら、時間を見つけては研究に勤しんできました。まだまだ足りない点や自力で気付かない点が多々あることと存じます。EBE について、教育について、色々な人たちと色々なお話ができればと思っております。

当日は、皆さんにお会いできるのを楽しみにしております。

Evidence Based Education 研究会 第 10 回大会実行委員長 大村 正樹

<講師紹介>



津富 宏 (TSUTOMI Hiroshi)

静岡県立大学 国際関係学研究所 教授

学生部副部長・キャリア支援センター長

《専門分野》犯罪学、刑事政策、評価研究、青少年支援、社会参加

《主なご経歴》

1983 年 4 月 法務省多摩少年院採用

(1986 年 8 月～1988 年 7 月) 人事院長期在外研究

(ウイスコンシン大学マディソン校)

1989 年 4 月 財団法人矯正協会附属中央研究所出向

1991 年 4 月 法務省矯正局調査係長

1993 年 4 月 法務省浪速少年院教育部門統括専門官

1996 年 4 月 法務省矯正研修所教官

1999 年 4 月 国連アジア極東犯罪防止研修所教官

2002 年 4 月 静岡県立大学国際関係学部准教授

2011 年 10 月 同教授

《著書》

- 1) 日本犯罪社会学会（編）津富宏（責任編集）『犯罪者の立ち直りと犯罪者処遇のパラダイムシフト』現代人文社，2011 年。
- 2) 津富宏+NPO 法人青少年就労支援ネットワーク静岡『若者就労支援「静岡方式」で行こう!!』クリエイツかもがわ，2011 年。

《学術論文》

- 1) 「メタ・アナリシスの技法」立田慶裕編『教育研究ハンドブック』世界思想社 215-228，2005 年。
- 2) 「「エビデンス」の利用に関する検討～技術移転と追試過程を中心に～」『日本評価研究』10:43-51，2010 年。
- 3) ローレンス・W・シャーマン他（編）津富宏・小林寿一（監訳）『エビデンスに基づく犯罪予防』社会安全研究財団，2008 年。
- 4) D. J. トーガーソン、C. J. トーガーソン（著）原田隆之・大島巖・津富宏・上別府圭子（監訳）『ランダム化比較試験 (RCT) の設計 ヒューマンサービス、社会科学領域における活用のために』日本評論社，2010 年。 ほか多数
(「静岡県立大学教員データベース」より)

<受付・問い合わせ先>

E B E 研究会事務局

かどもと ひとし

加登本 仁（滋賀大学教育学部 講師） ebe.2014.8.23@gmail.com

<会場までのアクセス>

同志社大学 ^{いまでがわ}今出川キャンパス ^{こうふうかん}弘風館会議室（4F）

〒602-8580 京都府京都市上京区今出川通烏丸東入玄武町 601

<http://www.doshisha.ac.jp/information/campus/imadegawa/imadegawa.html>

